

令和5年4月号

うつみ進学塾

東雲(しののめ)

vol.49(290)

新年度の始まりです。いつもは4月のお手紙には、「桜がちらほら先始め…」と書いていましたが…、今年は、桜が過去最速に開花し4月を迎えるころには満開が終わって散り始めてしまうのでは？と、思わせるような状況です。結果、桜の花に囲まれながら終業式を迎える…と言った状況でした。入学式の頃には葉桜満開？って感じでしょうか。まあ、それも一興です。身の周りにある桜、しっかり満喫しておいてくださいね。今月のお手紙にある桜は塾の近くの忠霊塔のものです。3月24日にきれいな青空だったので、満開には少し早かったのですが、「今年も手紙に使える！」と、写真を撮ってきました。例年、花曇りで空が雲一杯の状況での写真が多いのですが、今年はなかなか素敵な写真になったのでは…と自画自賛です。



あらためまして、みなさん、新入学・新学年への進級おめでとうございます。4月から新しく中学校や高校へ通う人はもちろん、新学年になると付き物のクラス替えなんかに不安を抱いている人は多いかもしれないですね。しかし、不安な気持ちを抱いているのは他の人たちもみんな同じです。思い切って新しいクラスでは気になるクラスメイトにこちらから話しかけるのも良いかもしれませんよ。

中学校では、これまでの算数が数学と名前が変わり、いよいよ本格的に英語がスタートします。数学…言葉の響きだけで難しそう、なんて感じるかもしれませんが、二の足を踏むことなしにどんどん前向きに、何事にも積極的に取り組んでいって欲しいと思っています。

高校へ進学した人は、一年間の受験を終えて、それぞれみんなが志望校へと再編成された状態です。今、自分と机を並べている人たちは、現時点では全員、自分とは大差ないレベルの人たちです。この中からどれだけのし上がっていかは、今後のあなたの頑張り次第！ 中学校・高校共に言えますが、これからの3年間をどの位置で過ごしていくかは、まずは一学期の一ヶ月、二カ月が勝負になります。最初のスタートで失敗しないように！
「簡単♪簡単♪」と、油断していると知らないうちに難しくなっているかもしれないです。

五月のG.W.明けには早くも中間試験が始まります。前の学年の最後に学習した部分も試験範囲に加わることになるかも



しれないので、意外と試験範囲が広がるかもしれませんよ。早めのケアも必要です。

この4月から新たに受験生となった中3生、そして3年ぶりにまた受験生となった高3生の人、私個人は一緒に受験勉強できるのを楽しみにしています。そんな受験生の人へ、具体的な志望校の絞り込みは、これからで構いませんが、ぼんやりとした形でも「これぐらいの学校に行きたいなー」とか、「こんな学部に進みたい」などの目標を早めに設定できると良いですね。そうすることで、自分が今やらなければいけない事がより具体的な形で目の前に提示されてきます。例えば、中3生なら「どのぐらいの内申点を目指さないといけないのか」とか、高3生なら受験に必要な科目の絞り込みができると言った利点があります。



具体的な目標が決まっていないという高3生は、まずは英語の強化を目指しましょう。どの進路を選ぶことになろうとも英語は絶対についてきますから。

一方で中3生は、科目の絞り込みをやってはダメですよ。内申点を上げるためにも副教科も頑張らなくてはなりません。学校の先生も人の子です。授業中の笑顔は決して忘れることのないように！そして、受験生だけでなく当然のことながら、「1年間、提出物は忘れずに出し続ける事！！」が大切です。



新学年が始まると、学校から年間予定表(または月間予定表)をもらってくると、思います。みんなのテスト対策の予定を円滑に立てるためにも、学校で予定表をもらったら塾に持って来てください。よろしくお願いします。

新学年になり、小学生と中学生には新しい問題集をお渡しする予定です。毎年、問題集代として1科目あたり1000円をいただいていたのですが、昨年からの問題集の値上がりを受けて1科目あたり1500円をお願いします。このお手紙と共に、お月謝の明細をお渡ししますのでよろしくお願いします。